

【看護福祉リハビリテーション学部 看護学科】カリキュラムマップ(2024年度入学生用)

授与する学位:学士(看護学)		ディプロマ・ポリシー																	
知識・理解	幅広い視野	DP1:人、自然、環境、社会、地域、国際について幅広い教養を有している DP2:看護学について適切な知識や理解、そして技術を有している DP3:幅広い視野をもって合理的・批判的に判断できる DP4:適切な日本語運用力を修得し、活用することができる DP5:母語以外の特定の外国語について基礎的なスキルを修得し、活用することができる DP6:基礎的ICTの知識・スキルを修得し、適切に活用することができる DP7:数的データを含む多様な情報を適切に収集・分析し活用することができる																	
		汎用的能力	基本的能力	DP8:仏教精神を理解し、自らの理解・判断・行動を見つめ直す姿勢を身につけている DP9:多様性の尊重と共生の精神を有している DP10:日本の伝統文化を深く理解し、その成果を自分の生活に生かすことができる DP11:高い倫理観を持ち、思いやりの心を忘れずに他者と接することができる DP12:看護学の知識・理解・技能等に基づき、対話や議論を重視し、他者・他文化との相互理解に努めることができる DP13:看護学の知識・理解・技能等を活用して、社会に参画する態度を有している															
態度・志向性	豊かな人間性			DP14:自らの生涯を見通す視野を持ち生涯を通じて学び続け、キャリア形成を遂げる力を備えている DP15:現代社会の諸問題を解決するために、看護学の知識と技能を活用し、問題解決に実践的に取り組むことができる															
	統合的な学習経験と創造的思考力	応用的能力	ディプロマ・ポリシーの項目番号 ○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの到達目標に対して最大3個まで																
学習科目			科目の主題	科目の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
人体の構造と生理機能	医療に関するすべての知識の基本となる人体の構造とその機能について理解を深める。	1. 解剖学に準拠して人体の諸器官の「構造」について理解している 2. 生理学に準拠して人体の諸器官の「機能」について理解している 3. 外経路に対する反応としての生命維持の仕組み、遺伝・発生・老化の仕組みの基本的理解ができる。	○	○	○														
病気の成り立ち	ヒトが病気になったときに示す、身体・細胞の構造と機能の変化と、それがどのように生じるかについて学ぶ。	1. ヒトの病気の原因・発症・病態・メカニズムを、先天異常と遺伝子異常・代謝障害・腫瘍・免疫・感染・炎症・老化の6つのカテゴリーから理解している 2. ヒトの病気の診断・治療・予防の基本的理解している 3. 各臓器ならびに組織の疾患について理解している			○	○													
からだの防衛の仕組み	病原体とその感染および免疫の基礎知識、病原体に対する身体の防御機構(免疫機能)、感染を防ぐことについて学ぶ。	1. 細菌・ウイルス・真菌など病原体の知識、病原体の感染経路、身体への侵入・増殖、疾病を起こすメカニズムを理解している 2. 免疫機能と、免疫細胞による身体の感染防御機能を理解している。 3. 感染症の診断・治療・予防の基本的理解している。	○	○	○														
薬理学	薬物の人体への生理的影響について看護の役割を把握に学ぶ	1. 薬物の体内の動態・代謝と薬物の投与経路、作用・副作用を理解している 2. 薬物の各薬理作用別に薬物の機能などを理解している 3. 薬剤それぞれ作用機序や臨床応用を理解している				○													○
診断と治療Ⅰ	呼吸器・循環器・血液/造血器・内分泌・脳/神経・アレルギー・膠原病・消化器/肝臓/胆膵/腎臓/皮膚/感覚器・運動器・泌尿生殖器など内外科系・外科学系・婦人科系の諸疾患や感染症について、病歴・検査法・診断の過程と主要な疾患の病態と予後について学び、各疾患のイメージを習得し、適切な看護を提供する知識・手法・能力を養う。	1. 左記の疾患の病態・病理の基本的(病気のイメージ)を理解している 2. 左記の疾患の検査、治療、予後について理解している 3. 患者の病態と診断・治療を統合し、看護サービスの展開を理解している			○	○													○
診断と治療Ⅱ	老年医学、新生児・小児医学、精神医学の基礎知識、ならびに関係する疾患の、徴候・検査法、診断の過程と主要な疾患の治療と予後について学び、適切な看護を提供する知識・手法・能力を養う。	1. 老年性疾患、小児・新生児・周産期疾患、発達・人格障害、精神疾患の病態、病理の基本的理解している 2. 老年性疾患、小児・新生児・周産期疾患、発達・人格障害、精神疾患の検査、治療、予後について理解している 3. 老年・小児・精神疾患の病態と診断・治療を統合し、看護サービスの展開を理解している																	○
基礎ゼミ	看護職を目指す大学教育の導入科目としての役割を担い、学生のための基礎的な能力を養い、看護専門職を目指すための学習態度を養う。	1. 大学生活をイメージでき、看護専門職者になるための主体的な学習法が理解できる 2. 協同的なグループワークができる 3. 物事を構造的に分析し批判的に分析、判断し、自身の主張を論理的に構成する能力を習得できる	○			○						○							
公衆衛生学	公衆衛生学の歴史と健康増進と人々の暮らしにおける健康維持の役割の関係および健康指標などを学ぶ。	1. 公衆衛生の歴史と人々の暮らしにおける健康維持の役割を理解している 2. 公衆衛生に基づいた健康増進とその役割を理解できる 3. 地域の特性のアセスメントの基本的能力を習得している				○						○							○
社会保障論	社会保障制度の理念と歴史とその構造の概要を医療保険と介護保険を中心に学ぶ。	1. 社会保障制度の理念と歴史、社会保障の財源と費用を理解している 2. 社会保障制度における社会保障と生活保護制度の連関を理解している 3. 諸制度の特性および看護の関わりを理解している	○	○	○														○
ホリスティックヘルスⅠ	看護におけるヒューマンケアリング「こころ」「からだ」を統合する視点に重点を置き、統合医療・ホリスティックなアプローチなどの考え方を学ぶ。学生自身が自分自身の健康やQOLについて考え、セルフケア、ストレスマネジメントなどの概念を基礎として「自分」をケアすることの意味を学ぶ。	1. ヒューマンケアリングの基本的な考え方を理解する 2. こころの健康について理解する 3. ストレスマネジメントについて理解する	○	○															○
専門職の連携(基礎)	医療福祉機関をはじめとした地域の生活者の支援に関わる職種役割を理解する	1. 取得を目指す資格は、他職種と連携し地域における包括的なヘルスケアシステムを担い、人の命を救う専門職としての資格であることを理解する 2. 地域における包括的なヘルスケアシステムを担う専門職を理解する 3. 他職種の視点を通して、将来についてのより明確な自己像を描けるようになる			○							○	○	○					○
生命倫理	人の生命の尊厳、基本的権利、尊厳死などについて学び、看護職としての基本的倫理原則、倫理理論を学ぶ	1. 人としての命の尊厳と基本的権利を看護的視点から理解できる 2. 看護職として倫理原則、生命・医療倫理を理解している 3. 日常生活の場の問題解決を倫理的判断にもとづいて考察できる										○	○	○					○
生化学	人体の構造や機能を細胞レベルにおいて、生命現象を化学的に学ぶ	1. 糖質、脂質、タンパク質およびアミノ酸その分、機能など化学的性質を理解している 2. 生体内での代謝経路と相互転換およびエネルギー生成と利用を理解している 3. 核酸の性質と代謝、遺伝子の発現と遺伝子操作、ホルモン作用機序等を理解している	○	○	○														
看護と栄養	生物体・生活者としての人間理解を踏まえ、科学的な人間の生命維持過程に必要な栄養とその代謝を学ぶ	1. 人間の生命を維持する食品成分の栄養素が理解できている 2. 栄養素の消化・吸収のしくみと健康との関係について理解している 3. 人間の食行動の特性と健康教育について理解している			○	○													○
生物の基礎	生物や生物現象について、基礎的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を生物学的に探究する	1. 細胞、生類と発生及び遺伝について理解している 2. 環境と生物の反応の間に現れる仕組みや内部環境の維持を理解している 3. ヒトの成長や器官の分化の原則について理解している			○	○													
化学の基礎	化学的な物事・現象について、基礎的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を探究する	1. 化学の役割や物質の扱い方について理解している 2. 有機化合物の性質や変化を理解し、物質に関する基本的な概念や法則を理解している 3. 物質に関する基本的な概念や法則を日常生活と関連付けて考察できることが出来る			○	○													
ホリスティックヘルスⅡ	看護の中のアート、ケアリングの側面に重点を置き、1) 中医学などの伝統療法を取り入れた、統合医療・ホリスティックなケアの考え方を学ぶ。学生自身が自分自身の健康やQOLについて考え、セルフケアする前に、まずは自分自身のwell-beingやQOLを高めるための具体的な方法について学ぶ。	1. ホリスティック・ヘルスの概念について理解できている 2. 統合医療について理解できている 3. 自身のストレスマネジメントについて理解できている	○									○	○						○

単科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号														
			O:DP達成のために習得された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
在宅看護学概論	養育者とその家族が、人としての尊厳、健康で安全に生きるという自分の家での生活の基本を保障するための看護的実践を学ぶ	1. 人間の尊厳を守ることを理解している 2. 養育者とその家族の健康と安全を理解している 3. 連携と在宅支援について理解している								○	○		○				
地域看護学概論	地域の人々の健康課題に対応した地域看護活動の概要を学ぶ	1. 地域看護の考え方と主要な理論を理解している 2. 地域看護活動の対象と場、方法を理解している 3. 地域看護の継続性と包括性を理解している		○													○
母性看護学援助論	围産期の母児/子および家族の身体的・精神的・社会的特徴について学ぶ。また、対象者のセルフケア能力を高めるための保健指導の意義と実践を学ぶ	1. 围産期の母児/子の特徴と正常経過を理解している 2. 健康診査を始めた母子支援の意義と実践を理解している 3. ハイスリク妊婦について理解している			○									○	○		
母性看護学演習	围産期の母児/子および家族のケアに必要な知識と技術を習得する。さらに、ウェルネスの看護過程を用いて正常経過をたどるの対応に看護過程が展開できるよう、実践で活用できる知識と技術にまで高める	1. 围産期に必要な看護技術を科学的根拠をもって安全に実施できる 2. 围産期に必要な健康管理の方法を理解している 3. 围産期における母子相互関係について理解している						○							○		○
小児看護学援助論	子どもの権利や発達的視点に加え、健康障害のある子どもと家族への看護を展開する基礎的知識を学ぶ	1. 子どもの入院・病気が子どもとその家族に及ぼす影響を理解している 2. 小児の健康レベルに応じたアセスメント技術を理解している 3. ささまざまな場面における子どもとその家族への看護援助の視点を理解している		○	○												
小児看護学演習	疾患をもつ子どもの事例展開を通して、小児看護における知識を統合する力を学ぶ	1. 教育など他職種との協働・連携における小児看護の役割について理解している 2. 子どもに特有な看護技術を学び、発達の視野をもった小児看護の実践を理解している 3. 事例展開を通して、小児看護における知識を統合する力が身につく		○							○						○
成人看護学援助論	あらゆる健康段階、健康障害を持つ成人期の対象に必要な看護について学ぶ	1. あらゆる健康段階における対象の特徴と看護の役割を理解している 2. 健康障害の種類と特徴を理解し疾患の治癒・検査の方法と看護を理解している 3. 回復過程に合わせた個別性のある看護援助の方法を理解している			○	○											○
成人看護学演習	健康段階に応じた看護技術の方法と成人期にある対象への看護過程の方法を学ぶ	1. あらゆる健康段階における看護実践方法について理解している 2. 成人看護に必要な看護技術を習得する 3. 事例展開を通して成人期を対象に対する看護過程の方法を習得する		○								○					
老年看護学援助論	高齢期特有の疾患や生活機能障害について学び、高齢者の個別性や認知に配慮し、科学的根拠に基づいた看護実践を理解する	1. 高齢期特有の疾患や生活機能障害について学ぶ 2. 老年期の看護過程の特徴やアセスメントの目的・特徴が理解できる 3. 老年期特有の身体的・心理的・社会的・スピリチュアルニーズに対応した、科学的根拠に基づいた看護実践について学ぶ															○
老年看護学演習	老年看護に必要な技術を学び、実践能力および看護過程の方法を修得する	1. 各種障害や要介護状態にある高齢者への看護実践について理解できる 2. 老年看護の実践に必要な援助技術を取得する 3. 事例展開を通して、高齢者に対する看護過程の方法を修得する				○									○	○	○
精神看護学援助論	精神障がいをもつ人に対する基本的な援助方法および精神科リハビリテーション活動、精神医療保健福祉の連携と支援法を学ぶ	1. 精神看護学の基礎的知識や技術を理解している 2. 精神障がいをもつ人に対する基本的な援助方法を理解している 3. 精神科リハビリテーション活動、精神医療保健福祉の連携と支援の方法を理解している							○				○				○
精神看護学演習	様々な状況にある対象者の精神状態の把握とアプローチ法に関する基礎的知識を学び、身体、精神面の統合を学ぶ	1. 精神障がいをもつ人の身体的・心理的アセスメント能力を習得している 2. 精神障がいをもつ人に対する看護過程の展開方法を理解している 3. 心の不健康・病気のとき、看護職として支援方法を理解している							○	○							○
在宅看護学援助論	在宅養育者とその家族への看護活動を支える援助技術、医療的ケアを必要とする人の看護の実践を学ぶ。訪問看護を中心とした在宅サービスの利用に関する、介護保険、医療保険等の社会保障について学ぶ	1. 在宅において医療管理を必要とする人の看護の実践について理解している 2. 在宅における看取りや災害看護について理解している 3. 在宅サービス利用に関する介護保険、医療保険等の社会保障を理解している											○	○			○
在宅看護学演習	事例の個別性に応じた看護過程の展開を通して在宅看護に必要な看護の役割について学ぶ。訪問看護におけるマナーについて学ぶ	1. 事例を通じた状況に応じたアセスメントと看護の実践について理解できる 2. 訪問看護における看護過程の展開方法と看護の役割を理解している 3. 在宅への訪問看護提供時のマナーを理解し実践できる											○	○			○
緩和ケア	終末期を迎える患者やその家族には、身体的・精神的・社会的なさまざまな心身の「痛み」について理解し、一人ひとりが、それぞれの痛みを乗り越えて、最後の瞬間までその人生を意味あるものとする実践について学ぶ。患者者として対峙するべき家族や介護者も考える。ホスピスケア、緩和ケア、を理解し、仏教に基づくビハラーケアを学ぶ	1. 緩和ケアが必要な患者・家族の身体的・心理的状況を理解する 2. ターミナル期にある患者に仏教が提唱しているビハラーケアについて理解している 3. 仏教精神に基づいた終末期の看護実践について理解する			○	○											○
医療安全	医療サービスの高度化に伴い、より質の高い看護サービスを提供するため、医療看護の最も基本的な要件である医療安全の確保に必要知識を習得する	1. 医療安全の基本的な考え方と看護職の役割について理解している 2. リスクマネジメントの方法について理解している 3. 感染に対する危機と予防策を理解している															○
疫学	疫学の方法と基本的な考え方を学び、公衆衛生看護学における特定地域の疾患構造などのアセスメントおよび保健活動などの展開に必要な知識を習得する	1. 疫学の方法と基本的な考え方を理解している 2. 公衆衛生看護学における特定地域の疾患構造などのアセスメントが自立して学習できる 3. 保健活動などの展開に必要な知識を理解している															
保健統計学	保健医療従事者や研究者は個人の健康の維持・増進や公衆衛生上のために様々な保健事業や疫学研究を実施する。その際必要な集団と個人の健康状態に関する情報をを用いた分析の考え方と方法を学ぶ	1. 既往歴、家族歴、検査結果など個人の健康状態に関する情報を用いた分析の考え方と方法を理解している 2. 集団及び個人のヘルスアセスメント等看護学の統合的な視点における看護活動としての基礎知識を理解している 3. 保健医療従事者として基礎的な統計分析手法を理解している															
学校保健	学校教育として行われる学校保健の目的と内容、児童生徒の健康問題などをふまえて、学校における健康づくりの意義、さらに、学校内外の関係者・関係機関が連携した健康づくりの実践を学ぶ	1. 学校保健の目的、内容、方法について理解している 2. 学校保健における保健事業の立案を理解している 3. 学校保健教育の展開方法や学校保健管理の実践を理解している										○					
産業保健	歴史的に取組まれてきた産業保健活動から労働と健康の関係、職業に起因する疾病などについて学ぶ	1. あらゆる職業に従事する人々の労働衛生対策や根拠となる労働基準法、労働安全衛生法などの法制度を理解している 2. 産業保健師の役割について理解できる 3. 労働形態の多様化、情報産業の発展に伴う健康被害や化学物質等有害物質対策、生活習慣病対策、メンタルヘルス対策など産業保健の現代的課題について考察できる															
健康教育論	健康教育の基本的知識を理解し、健康教育の目的・方法を学ぶ。対象者の個人・集団特性を把握して、各々に可能な生活行動について実践的に学ぶ。保健師が行う健康教育としての健康教育の企画・実施・評価の過程を習得する	1. 看護職が行う健康教育の目的・意義が理解できる 2. グループの特性、及びグループ活動の意義と支援者の役割が理解できる 3. 保健師が地区活動として行う健康教育の企画・実施・評価の過程を習得する															
基礎看護学実習Ⅰ	基礎看護学実習では、健康問題を解決するための看護活動を体験的に学ぶ	1. 看護の目的・対象の理解・看護が機能する場を体系的に理解している 2. 医療を受けている対象への関心と理解を深めている 3. 援助の場の体験を通して、看護の方法や看護師の役割が理解できる													○	○	○

